

広域振興局長

提出者 キオクシア岩手株式会社
 住所 〒024-8555 岩手県北上市北工業団地 5番29号
 氏名 キオクシア岩手株式会社
 代表取締役社長 柴山 耕一郎

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

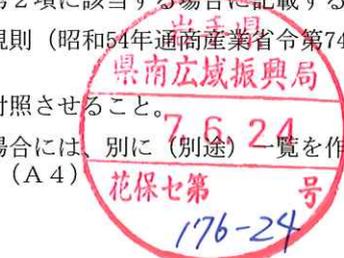
主たる工場又は事業場の名称	キオクシア岩手株式会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地 5番29号	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	238,294 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
		kl
		kl
		kl

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度							E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量							
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D					
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL						
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL						
揮発油(ガソリン)	8.00	kL	267		kL		267	18	16	2	
ナフサ		kL			kL						
ジェット燃料		kL			kL						
灯油		kL			kL						
軽油	7.00	kL	266		kL		266	18	10	8	
A重油		kL			kL						
B・C重油		kL			kL						
石油アスファルト		t			t						
石油コークス		t			t						
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t						
	石油系炭化水素ガス		千m ³		千m ³						
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	7,762.00	t	424,581	t		424,581	21,639	16,276	5,364	
	その他可燃性天然ガス		千m ³		千m ³						
石炭	輸入原料炭		t		t						
	原料炭		t		t						
	コークス用原料炭		t		t						
	吹込用原料炭		t		t						
	一般炭		t		t						
石炭コークス	輸入一般炭		t		t						
	輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t			t						
コールタール		t			t						
コークス炉ガス		千m ³			千m ³						
高炉ガス		千m ³			千m ³						
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³						
転炉ガス		千m ³			千m ³						
その他の燃料	都市ガス		千m ³		千m ³						
	()										
黒液		t			t						
木材		t			t						
木質廃材		t			t						
バイオエタノール		kL			kL						
バイオディーゼル		kL			kL						
バイオガス		千m ³			千m ³						
その他バイオマス		t			t						
RDF		t			GJ/t						
RPF		t			GJ/t						
廃タイヤ		t			GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t						
廃油		kL			GJ/kL						
廃棄物ガス		千m ³			千m ³						
混合廃材		t			t						
水素		t			t						
アンモニア		t			t						
その他燃料()											
小計①							425,115	21,676	16,302	5,374	
産業用蒸気		GJ			GJ						
産業用以外の蒸気		GJ			GJ						
温水		GJ			GJ						
冷水		GJ		154,746	GJ	184,148	-184,148	-8,232		-8,232	
地熱		GJ			GJ						
温泉熱		GJ			GJ						
太陽熱		GJ			GJ						
雪氷熱		GJ			GJ						
小計②							-184,148	-8,232		-8,232	
電気事業者①	1,019,848	千kWh	8,811,487		千kWh		8,811,487	409,979	422,130	-12,151	
電気事業者② ※複数契約している場合使用	19,716	千kWh	170,346		千kWh		170,346	12,382		12,382	
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh						
自家発電	太陽光	3,727	千kWh	13,417		千kWh	13,417				
	水力		千kWh			千kWh					
	風力		千kWh			千kWh					
	その他		千kWh			千kWh					
小計③							8,995,250	422,361	422,130	230	
合計 ④=①+②+③							9,236,217	435,804	438,432	-2,628	

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1) のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	238,294	kL
--------------	---------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区 分		温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	435,804	t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素		t-CO ₂
メタンの排出量			t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量			t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量			t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量			t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量			t-CO ₂
合 計		435,804	t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

省エネ法に基づき原単位を年平均1%削減するため25年度までに3%削減
→24年度は対前年38%減少

【具体的な取組状況】

①電気

②LNG

運転台数や出力を調整し最適運転を進める。
→生産量に応じた出力調整をし最適運転を進めた。

○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)
屋根上太陽光発電設備の利用(2023年1月設置):毎年304万kWh以上
→24年度発電量実績373万kWh

非化石証書の購入

→45,000,000kWh分の非化石証書を購入

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

特に無し

